

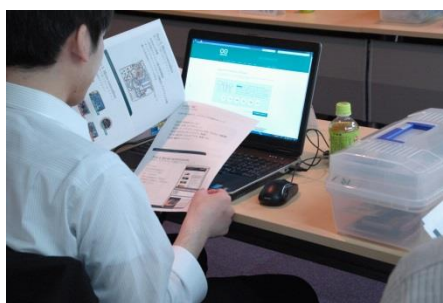
### 第3期 次世代IoTワークショップ(プロトタイピング講座) 始まる

平成29年2月18日(土)、JISA会議室において、「第3期 次世代IoTワークショップ(プロトタイピング講座)」が22名の受講者を得て開講した、全12回のワークショップである。



本講座は、副題として掲げた Alan Kay 氏の言葉「ソフトウェア技術者であってもハードウェア構造を理解し、ハードウェアを作り出す基礎スキルを修得することが重要である」ことを念頭に、IoT(Internet of Things)時代に必要なハードウェア技術と、制御ソフトウェア技術の習得を狙いとしている。具体的には、(1)Rapid Prototyping(実働するモデル、プロトタイプを短期間で製作する手法)に必須であるプログラミングと電子工作の基礎を身につけ、(2)ブレインストーミングでアイデアを練り、ガジェットを制作し、(3)仲間とともに Maker Faire Tokyo 2017(8月5日(土)及び6日(日)開催)への出展を目指す。

第1回目は、IoTデバイスとしてマイクロコントローラ(マイコン)Arduinoの特徴と、同マイコン上で稼働するソフトウェア開発環境のセットアップ、プログラミングの”Hello, World!”に相当する「LED blink」の実習、コンテンツ力を磨く「30秒自己紹介」を実施した。



今後も実習を中心に、プロトタイピング手法を身につけ、8月の Maker Faire 出展に向け、半年間のワークショップを運営する。第2回以降の予定については、<http://www.jisa.or.jp/event/tabid/152/pdid/1156/Default.aspx> を参照されたい。

(山本・鈴木)